（様式1）

学校番号	56	学校名	茨城県立江戸崎総合高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法

・教育基本法

・教育諸法規

校訓

至誠　　創造　　飛躍

学校の教育目標

・基礎学力の向上と個に応じた学力の定着に向けた授業改善
・基本的生活習慣の確立と規範意識の育成
・進路希望の実現と指導体制の確立
・地域と連携した学校づくりの推進

生徒の実態

・学校行事等に積極的に他と協力しながら行動できる生徒がいる一方で、コミュニケーションのつまづきで人間関係に悩む生徒。
・思いやりがあり、他人の気持ちを考えながら行動しようとする生徒。
・外国人生徒や特別な配慮を必要とする生徒が増え、個別支援がますます必要となっている。

保護者の願い

・豊かな心の育成
・規範意識を高める
・基本的生活習慣の確立

道徳教育重点目標

・基本的生活習慣を確立させ、自学自主の精神を身につけさせる。
・礼儀の意義を理解し、時と場所に応じた言動がとれるようにする。
・自他の生命を大切にする心を育成する。

地域の実態

歴史のある学校に対して理解を示してくれている。稲敷市と連携協定を結びますます期待されている。

各教科・科目

国語	作品を通して作者の考え方に共感できる心情を育てる。
地歴	人間としての生き方を考えさせ、社会の一員としての自覚を持たせる。
数学	反復練習により、数学的思考力を身に付けさせる。
理科	自然を愛する心の育成とともに、生命尊重の態度を養う。
保体	運動に親しむ資質の育成と明るい生活を送ることができる態度を育てる。
芸術	芸術を愛する心を育てるとともに、豊かな情操を養う。
外国語	異文化を理解し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
家庭	家族や家庭、社会の意義を理解させ、実践的な態度を育成する。
情報	情報化社会における、ものの見方や考え方を養う。
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。
専門	実験実習を通して勤労観を高め、人間性・社会性を向上させる。

特別活動

ホームルーム活動

・ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践することができる生徒の育成
・ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践することができる生徒の育成

・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
・集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養うことができるようにする。

公民科

公共

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸問題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

生徒支援

・共感的な人間関係を図るとともに、生徒一人一人が目標をもち将来を展望し、自己実現を図ることができるように支援する。
・豊かな心をはぐくむ教育活動の実現のための指導体制づくりをする。
・優しさのなかに厳しさをもち、ほめながら、規律ある行動がとれる生徒の育成に努める。

家庭との連携

・年次便り、学級通信、PTA広報誌等を利用し、学校における道徳教育の現状や問題点を知らせる。
・家庭のもつ教育力を引き出し、学校における道徳についての理解を求める。
・学校行事等を利用して保護者との話し合いの場を多く設ける。
・家庭との連絡を密に行い、学校と家庭が連携して生徒の成長を見守る。

地域社会との連携

・地域社会でのインターンシップ等の活動を通して職業観や社会性、協調性を育成する。
・奉仕活動を通して、地域との連携や交流を深め、地域社会の一員である自覚を身に付けさせる。
・社会人講師等を招き、就業意識の高揚を図る。
・文化祭等において、地域の人々に学校を公開し、開かれた学校づくりを目指す。
・稲敷市と連携協定の中で地域での活動の参加していく。